

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備・保全							
	目的	既存道路の拡幅整備や、県道岡崎豊明線から主要地方道名古屋岡崎線までの道路整備を行うことにより、歩行者の安全と円滑な交通を確保する。			主たる内容	市道01-4号線（起点：井ヶ谷町池之浦～終点：今川町交差点）の道路整備 延長 3,200m 幅員 13.5～15.0m （両側歩道 幅員 2.5～3.5m）				
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、都市交通戦略							
			根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成11年度～令和12年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・道路新設改良工事 20m ・用地取得 120㎡		・道路新設改良工事 10m （R4繰越分） ・道路新設改良工事 20m ・用地取得 120㎡		・交差点改良工事 1箇所 ・道路新設改良工事 10m ・移転補償 1式		・交差点改良工事 1箇所 ・道路新設改良工事 40m （R6繰越分） ・交差点改良工事 1箇所 ・道路新設改良工事 10m		
成果		道路整備を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。								
課題		道路整備を進めるため、引き続き道路管理者との協議を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			97.4	100.0	—	—	—	
活動指標		道路整備率（％）			91.9	92.2	92.2	93.8	93.8	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費①		45,119	114,049	79,094	371,024	合計	79,093,708円		
	財源	特定財源	23,545	80,675	28,000	371,009	工事請負費	41,177,000円		
		一般財源	21,574	33,374	51,094	15	補償、補填及び賠償金	37,916,708円		
	職員人件費②		7,755	7,289	5,973	8,180				
	総事業費（①+②）		52,874	121,338	85,067	379,204				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
6年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金繰入金						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	当該路線は国道1号線と連絡する重要な路線であり、交通量が多い上に大型車の混入率が高い。また一部区間は通学路として利用されている。しかし、車線幅員や歩道幅員が狭く、交差点で慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化と安全性の向上を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	社会資本整備総合交付金を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡幅整備や交差点改良を行うことで、交通安全や生活利便性の向上を図るとともに企業の産業活動を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路の整備は、県道岡崎豊明線との交差点改良、及びバイパス区間は道路の拡幅が完了しており、交差点の渋滞緩和と旧道沿線地区の良好な住環境の形成（騒音や交通安全確保）に一定の効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今川町交差点改良工事完成に向け、関係機関との協議を行い道路工事を進めるとともに、未整備区間の着手に向け関係機関と調整を行う。					

会計名		市道01-36号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計						担当課	道路建設課	
款	項					目	担当係	道路整備第1係
8	2					3		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤					
		基本施策	道路・交通					
		施策の内容	道路の整備・保全					
	目的	沿線企業との連携による道路拡幅及び歩道内の電線類を地中に埋設することにより、安全で快適な歩行空間を確保する。	主たる内容	市道01-36号線（起点：豊田町2丁目～終点：豊田町3丁目）の道路整備 延長 530m 幅員 13.5m 電線類地中化 バリアフリー化				
	位置づけ	関連計画	無電柱化推進計画					
		根拠法令	道路法、無電柱化の推進に関する法律、電線共同溝の整備等に関する特別措置法					
	対象者	市民、企業	事業期間	令和6年度 ～ 令和12年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績	7年度計画	
		_____		_____		・電線類地中化詳細設計	・電線類地中化工事 140m（R6線越分） ・電線類地中化詳細設計	
成果		各電線管理者等と調整をし、電線類地中化設計を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。						
課題		道路沿線企業や各電線管理者等と引き続き協議・調整を行う必要がある。						
指標名称（単位）			実績値		目標値			
			4年度	5年度	6年度	7年度 9年度		
活動指標	道路整備率（％）		—	—	0.0	13.2 49.5		
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト V	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	5,676	166,812	合計 5,676,000 円 委託料 5,676,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	166,012		
		一般財源	0	0	5,676	800		
	職員人件費 ②		0	0	3,504	7,937		
	総事業費（①+②）		0	0	9,180	174,749		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称		
		6年度までの累積事業費		0				
8年度以降の事業費見込		0						

会計名			市道01-36号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化を実施することで効率的な事業推進を図ることができる。また、道路沿線企業の用地を無償借地することにより、コスト縮減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
豊田2丁目交差点前は令和9年度末完了に向け工事を進めるとともに、早期供用開始に向け、道路沿線企業や各電線管理者等と協議を進める。					

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤			
		基本施策	道路・交通			
		施策の内容	道路の整備・保全			
	目的	バイパス機能を持った幹線道路を整備することにより、慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制する。	主たる内容	市道01-40号線（起点：中手町3丁目～終点：熊野町6丁目）の道路整備 延長 1,600m 幅員 12.0～15.5m		
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、都市交通戦略			
		根拠法令	道路法			
		対象者	市民	事業期間	平成11年度～令和15年度	
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他			

B事業実績 D実績 O実績 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
	<ul style="list-style-type: none"> JR工事委託協定の締結（継続費R4～R7） 橋りょう上部工製作（継続費R4～R7） 道路改良工事（附帯工） 用地整地工（R3線越分） 橋りょう下部工工事 1基 道路橋梁予備設計 		<ul style="list-style-type: none"> JR工事委託（橋りょう下部工工事） 2基（継続費R4～R7） 橋りょう上部工製作（継続費R4～R7） 		<ul style="list-style-type: none"> JR工事委託（橋りょう下部工工事、上部工工事）（継続費R4～R7） 橋りょう上部工製作（継続費R4～R7） 道路予備設計 地質調査 		<ul style="list-style-type: none"> JR工事委託（橋りょう上部工工事） 橋りょう上部工製作（継続費R4～R7） 橋りょう下部工工事 2基（継続費R7～R8） 道路改良工事（復旧工） 用地取得 2,134㎡（R6線越分） 道路予備設計 	
	成果		JR工事委託や橋りょう上部工の施工管理を適切に行い、事業の進捗を図ることができた。また、国道155号北側における河川協議を進め、概ね合意を得ることができた。					
	課題		道路整備を進めるため、引き続き地権者との交渉を行う必要がある。					
	指標名称（単位）				実績値		目標値	
					4年度	5年度	6年度	7年度
活動指標	道路整備率（%）			13.5	15.1	17.5	18.3	25.3
活動指標								
他市との比較検証								

C事業コスト	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①	166,662	354,557	860,698	1,173,357	合計	860,697,602 円	
	財源	特定財源	137,854	205,823	821,978	1,171,261	委託料	547,552,808 円
		一般財源	28,808	148,734	38,720	2,096	使用料及び賃借料	2,421,300 円
	職員人件費 ②	8,357	7,826	8,919	11,581	工事請負費	310,723,494 円	
	総事業費（①+②）	175,019	362,383	869,617	1,184,938			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費	0		社会資本整備総合交付金(国) 都市交通施設整備基金繰入金 前年度繰越金			
8年度以降の事業費見込		0		道路橋りょう債				

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市街地における交通渋滞が慢性化していることから、南北地区間の移動に時間を要している。また通過車両が生活道路に流入し、生活道路の交通安全の確保が危惧される状況であるため、これらの対策を講じる必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	長期的な展望から、（仮）南北縦貫道路の一部区間の整備を行い、将来的な道路網を形成するため、広く市民からの理解を得て事業を推進する。また、社会資本整備総合交付金を活用して道路整備を進める。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	バイパス機能を持つ道路整備を行うことで、交通の円滑化や市街地内の渋滞が緩和され、地域間の交流が活発になる。また市民の身近な道路の安全性が確保されることで、良好な住環境が提供できる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路整備により、既存の幹線道路の混雑緩和と生活利便性の向上が期待できる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
JR工事委託協定に基づき、JRが施工する工事について関係機関との調整及び進捗管理を実施する。 また、橋りょう上部工・下部工の工事を進めるとともに、早期供用開始に向け、設計及び関係機関協議を進める。					

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第1係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備・保全							
	目的	県道宮上知立線の整備に伴い設置される交差点に接続する道路を整備することにより、県道に分断される地区の安全及び利便性を確保する。			主たる内容	市道02-5号線他（起点：一里山町伐払～終点：一里山町南本山）の道路整備 延長 2,300m 幅員 6.0～13.0m				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民		事業期間	平成26年度～令和10年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・道路新設改良工事 50m ・用地取得 724㎡ ・道路修正設計 (R3線越分) 1式 ・道路新設改良工事 510m ・用地取得 337㎡		・道路新設改良工事 440m ・用地取得 56㎡ (R4線越分) ・道路新設改良工事 310m ・用地取得 2,332㎡		・道路新設改良工事 210m (R5線越分) ・道路新設改良工事 440m		・道路新設改良工事 70m (R6線越分) ・道路新設改良工事 210m		
成果		道路整備を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。								
課題		道路整備を進めるため、引き続き地権者や関係機関等と調整を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			71.7	90.9	90.9	90.9	99.3	
活動指標		道路整備率（％）			28.3	52.2	60.9	73.0	83.5	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費①		435,613	277,596	277,846	321,000	合計 277,846,377円			
	財源	特定財源	376,129	213,080	277,455	320,600	使用料及び賃借料 1,479,957円			
		一般財源	59,484	64,516	391	400	工事請負費 273,608,300円			
	職員人件費②		23,792	23,249	12,344	8,990	補償、補填及び賠償金 2,758,120円			
	総事業費（①+②）		459,405	300,845	290,190	329,990				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
6年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金繰入金						
8年度以降の事業費見込		0		前年度繰越金 道路橋りょう債						

会計名			市道02-5号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	県道宮上知立線により分断される地区の利便性及び安全を確保に必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、道路整備を進めていくため、効率的な事業進捗が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	県道宮上知立線により分断される地区の往来が可能となる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
早期供用開始に向け、引き続き地権者や関係機関等と協議を進める。					

会計名		市道02-14号線他道路新設改良事業				担当部	建設部			
一般会計						担当課	道路建設課			
款	項					目	担当係	道路整備第2係		
8	2					3				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備・保全							
	目的	県道今川刈谷停車場線から一般廃棄物処理場へのアクセス道路及び泉田地区の幹線道路として整備を行うことにより、処理場利用者や周辺住民の利便性を向上させる。	主たる内容	市道02-14号線（起点：泉田町折戸～終点：泉田町南新田）の道路整備 延長 1,840m 幅員 12.0m						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	～ 令和7年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・用排水路整備工事 360m（R3線越分） ・道路詳細設計		・道路新設改良工事 180m（R4線越分） ・用排水路整備工事 360m		・道路新設改良工事 250m（R5線越分） ・道路新設改良工事 180m		（R6線越分） ・道路新設改良工事 440m		
成果		道路整備を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。								
課題		道路整備を進めるため、引き続き地権者や耕作者と調整を行う必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度			
活動指標		道路整備率（％）		80.1	87.7	88.2	100.0	—		
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		21,252	97,856	86,976	235,461	合計	86,975,900 円		
	財源	特定財源	21,252	81,655	82,857	235,461	工事請負費	86,975,900 円		
		一般財源	0	16,201	4,119	0				
	職員人件費 ②		4,216	3,530	4,778	4,495				
	総事業費（①+②）		25,468	101,386	91,754	239,956				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
		6年度までの累積事業費		0		市町村土木事業費補助金（県） 都市交通施設整備基金繰入金 前年度繰越金				
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道02-14号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	不燃物処理場へ向かうアクセス道路で、泉田地区内の主要な道路となり、市民の利便性向上に重要な道路である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	県費補助を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	不燃物処理場利用者及び地域住民の利便性が向上すると共に、安全で円滑な交通が確保できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
令和8年3月完了予定					

会計名		市道3-928号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計						担当課	道路建設課		
款	項					目	担当係	事業推進係	
8	2					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備・保全						
	目的	愛知県が施工する県道小垣江安城線の周辺道路を整備することにより、県道により分断される地区の利便性及び安全性を確保する。	主たる内容	市道3-928号線（起点：小垣江町東高根～終点：小垣江町東山田）の道路整備 延長 270m 幅員 6.0～12.6m					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成30年度～令和7年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 道路詳細設計 用水詳細設計負担金（R3繰越分含む） 用地取得 1,594㎡ 		<ul style="list-style-type: none"> 明治用水移設負担金 		<ul style="list-style-type: none"> 道路工事負担金 330m（県施工工事） 用地取得 507㎡ 		（R6繰越分） <ul style="list-style-type: none"> 道路工事負担金 330m（県施工工事） 	
成果		用地取得を完了することができた。また、道路工事を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標		道水路用地の面積取得率（％）			98.8	98.8	100.0	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		63,854	49,975	34,371	41,266	合計	34,371,303 円	
	財源	特定財源	41,989	24,000	24,628	41,266	需用費	7,700 円	
		一般財源	21,865	25,975	9,743	0	委託料	373,175 円	
	職員人件費 ②		8,583	2,839	2,867	1,134	公有財産購入費	15,246,722 円	
	総事業費（①+②）		72,437	52,814	37,238	42,400	負担金、補助及び交付金	18,743,706 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
		6年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金繰入金 公共補償金収入			
8年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道3-928号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	県道小垣江安城線整備により分断される地区の利便性及び安全性を確保するため必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	県道整備の事業進捗に合わせて、用地購入、工事を進めていくため、効率的な事業進捗を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活の利便性及び安全を確保するため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路整備により、地区住民や道路利用者の利便性及び安全性が高まる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
令和8年3月完了予定					

会計名			市道1-87号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第1係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備・保全							
	目的	愛教大前交差点の改良を行うことにより、交通の円滑化及び児童、園児等の登下校の安全性を確保する。	主たる内容	市道1-87号線（起点：井ヶ谷町下前田～終点：井ヶ谷町中前田）の道路整備 延長 290m 幅員 9.0m						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	令和5年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		_____		・道路詳細設計 ・用地取得 595㎡		（R5繰越分） ・道路詳細設計		_____		
成果		道路設計を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。								
課題		道路整備を進めるため、引き続き地権者や地元関係者等と調整を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		道路整備率（％）			—	0.0	0.0	0.0	27.0	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	59,654	12,361	0	合計	12,360,799 円		
	財源	特定財源	0	0	12,361	0	委託料	12,360,799 円		
		一般財源	0	59,654	0	0				
	職員人件費 ②		0	2,609	4,699	0				
	総事業費（①+②）		0	62,263	17,060	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	6年度特定財源名称					
		6年度までの累積事業費		0	前年度繰越金					
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道1-87号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	現状は5差路の交差形状であり、交通安全の確保が危惧される状況であり、4差路交差点に改良する必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	整備効果を早急に発揮できるよう、整備必要期間を可能な限り短くするよう調整を行う。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路利用者の安全性の向上を目的に実施されている事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	交差点の改良を行うことで、交通の円滑化が図られる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
早期供用開始に向け、引き続き地権者や地元関係者等と協議を進める。					

会計名 一般会計			交差点改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第1係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備・保全						
	目的	東境町地内の交通事故が多発する交差点の道路拡幅を行うことにより、事故防止及び渋滞解消を図る。			主たる内容	○交差点改良（東境町） 延長 140m 幅員 6.5m			
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令	道路法						
	対象者	市民		事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
				・道路詳細設計		・用地取得 197㎡ ・交差点改良工事 1箇所 （R5繰越分） ・道路詳細設計		（R6繰越分） ・交差点改良工事 1箇所	
成果		道路設計及び交差点改良工事を行い、事業の進捗を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標		交差点改良箇所数（箇所）			—	—	0	1	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	4,785	23,244	21,000	合計	23,244,126 円	
	財源	特定財源	0	0	14,358	21,000	需用費	3,200 円	
		一般財源	0	4,785	8,886	0	委託料	6,839,019 円	
	職員人件費 ②		0	1,381	7,964	850	工事請負費	11,000,000 円	
	総事業費（①+②）		0	6,166	31,208	21,850	公有財産購入費	5,401,907 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金繰入金 前年度繰越金					
8年度以降の事業費見込		0							

会計名			交差点改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	交通事故多発箇所であり、道路利用者の安全な通行を確保するため、必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	用地取得面積を極力抑えた計画とすることでコスト縮減を図っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路利用者の安全性の向上を目的に実施されている事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路拡幅により、道路利用者の安全性が高まる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
令和7年5月完了					

会計名 一般会計		都市計画道路3・5・561高須線道路新				担当部	建設部			
款 項 目 8 4 3		設改良事業				担当課	道路建設課			
						担当係	事業推進係			
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備・保全							
	目的	道路拡幅及び歩道内の電線類を地中に埋設することにより、安全で快適な歩行空間を確保する。			主たる内容	都市計画道路高須線（起点：住吉町3丁目～終点：田町4丁目）の道路整備 延長 300m 幅員 18.0m 電線類地中化 バリアフリー化				
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、無電柱化推進計画、バリアフリー基本構想、自転車活用推進計画							
		根拠法令	道路法、都市計画法、電線共同溝等の整備に関する特別措置法、無電柱化の推進に関する法律							
		対象者	市民		事業期間	平成24年度～令和15年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
						・道路詳細設計 ・橋梁詳細設計 ・電線類地中化詳細設計 ・用地取得 105㎡ ・物件等補償 1式		（R6繰越分） ・道路詳細設計 ・橋梁詳細設計 ・電線類地中化詳細設計 ・用地取得 105㎡ ・物件等補償 1式		
成果		用地取得について、地権者と契約することができた。また各電線管理者等と協議し、設計を進めることにより、事業の進捗を図ることができた。								
課題		道路整備を進めるため、引き続き電線類地中化にかかる法手続き及び関係機関等との協議を進める必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標	道路用地の面積取得率（％）				—	—	0.0	100.0	—	
活動指標	道路整備率（％）				—	—	0.0	0.0	19.4	
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費①		0	0	71,210	85,342	合計 71,210,429円			
	財源	特定財源	0	0	45,405	85,342	需用費 10,200円			
		一般財源	0	0	25,805	0	委託料 14,334,529円			
	職員人件費②		0	0	5,097	3,968	補償、補填及び賠償金 56,865,700円			
	総事業費（①+②）		0	0	76,307	89,310				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
6年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金(国) 都市交通施設整備基金繰入金						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			都市計画道路3・5・561高須線道路新 設改良事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	事業推進係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	刈谷駅から近隣病院へ向かうバリアフリー路線として指定されている。また刈谷駅から南部へ向かう主要な道路であることから、誰もが安全に通行できる環境を構築する必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	近隣の学校用地の擁壁改築工事と同調することで、コストの縮減を図ることが可能となる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市道の整備であり、道路管理者が行うべき公共性の高い工事である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路を整備することにより、安全な通行環境を確保することができる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
設計及び関係機関等との協議を進め、早期供用開始に向け、事業進捗を図る。						

会計名		ウイングデッキ整備事業				担当部	建設部			
一般会計						担当課	道路建設課			
款	項					目	担当係	事業推進係		
8	4					3		道路整備第2係		
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	安全・快適な歩行空間の充実							
	目的	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画に基づく刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」に向けて、安全で快適な歩行空間を形成する。		主たる内容	○横断歩道橋整備 1箇所 ○南北連絡通路延伸整備 1箇所					
	位置づけ	関連計画	中心市街地まちづくり基本計画							
		根拠法令	道路法、都市計画法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律							
		対象者	市民	事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O A 実 施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 市が整備するウイングデッキの詳細設計（R3線越分含む） 愛知県が整備する横断歩道橋への負担金 		<ul style="list-style-type: none"> 愛知県が整備する横断歩道橋への負担金 市が整備するウイングデッキの詳細設計 		<ul style="list-style-type: none"> ウイングデッキの工事（下部工） 		<ul style="list-style-type: none"> ウイングデッキの工事（下部工・上部工） 愛知県への負担金（エレベーター整備）（R6線越分） ウイングデッキの工事（下部工） 		
成果		関係者と協議を行うことにより、事業の進捗が図ることができた。								
課題		道路整備を進めるため、引き続き関係者や民間事業と協議・調整を行う必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標	ウイングデッキ（横断歩道橋）整備率（%）				99.2	100.0	—	—	—	
活動指標	ウイングデッキ（南北連絡通路延伸）整備率（%）				0.0	0.0	3.3	41.4	100.0	
	他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト V	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①		226,892	125,093	10,282	820,732	合計	10,281,787 円		
	財源	特定財源	193,546	125,063	6,000	819,545	委託料	7,414,000 円		
		一般財源	33,346	30	4,282	1,187	使用料及び賃借料	42,545 円		
	職員人件費 ②		6,626	4,911	6,132	6,762	補償、補填及び賠償金	2,825,242 円		
	総事業費（①+②）		233,518	130,004	16,414	827,494				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
6年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金繰入金						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			ウイングデッキ整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	4	3			道路整備第2係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	バリアフリー経路として指定されていることから、誰もが安全に快適に移動できる空間を確保する必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知県や民間開発と連携することで、整備効果をより効率よく発揮できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	各種計画に位置付けられた施設であり、市が率先し主体となって進める必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	安全で快適な歩行空間の確保が可能となる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
工事に伴う規制の周知を図り、民間開発と調整しながら令和8年度供用開始に向け工事を進める。					

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・9逢見線電線類地中				担当部	建設部		
款	項	目	化事業			担当課	道路建設課		
8	4	3				担当係	道路整備第2係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	安全・快適な歩行空間の充実						
	目的	刈谷市中心市街地まちづくり基本計画に基づく刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」に向けて、歩道内の電線類を地中に埋没することにより、安全で快適な歩行空間を確保する。	主たる内容	都市計画道路逢見線（起点：桜町1丁目～終点：桜町2丁目）の道路整備 延長 224m 幅員 18.0m 電線類地中化 バリアフリー化					
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、無電柱化推進計画						
		根拠法令	道路法、都市計画法、電線共同溝整備等に関する特別措置法、無電柱化の推進に関する法律						
		対象者	市民	事業期間	令和5年度～令和13年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> 道路影響等調査設計 電線共同溝詳細設計 		（R5繰越分） <ul style="list-style-type: none"> 道路影響等調査設計 電線共同溝詳細設計 		<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化工事 153m 	
成果		調査設計及び道路設計を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。							
課題		道路整備を進めるため、引き続き関連する事業や各電線管理者等との調整を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標	電線類地中化・道路整備率（％）			—	0.0	0.0	36.5	46.3	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	20,950	84,000	合計	20,949,500円	
	財源	特定財源	0	0	20,950	60,150	委託料	20,949,500円	
		一般財源	0	0	0	23,850			
	職員人件費②		0	0	796	2,065			
	総事業費（①+②）		0	0	21,746	86,065			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0		前年度繰越金					
8年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・9逢見線電線類地中 化事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備第2係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	関連する事業に合わせて事業を実施することでコストの縮減を行い、効率的な事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成が図られる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
関連する事業や各電線管理者等との調整を行い、早期供用開始に向け事業進捗を図る。						

会計名 一般会計			道路用地等管理事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備・保全						
	目的	取得済み道路用地等の草刈り、砕石敷均し等を行い安全面等の維持管理を図る。			主たる内容	取得した用地を整備実施するまでの期間、定期的に草刈を行う。また、必要に応じ安全面を考慮して砕石の敷均しを行う。			
	位置づけ	関連計画 根拠法令							
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し、防草シート整備）		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し） 9,950㎡		・道路事業用地管理（除草、砕石敷均し） 8,630㎡	
		成果	道路用地として取得した土地の維持管理が適切に行われている。						
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		11,972	9,833	9,301	8,848	合計	9,300,500 円	
	財源	特定財源	38	1,003	1,158	1	委託料	7,425,000 円	
		一般財源	11,934	8,830	8,143	8,847	工事請負費	1,875,500 円	
	職員人件費 ②		1,468	1,343	1,433	1,498			
	総事業費（①+②）		13,440	11,176	10,734	10,346			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
8年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			道路調査事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	事業推進係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備・保全						
	目的	整備が必要な道路の基礎的調査を行い、交通の円滑化と安全を確保する。			主たる内容	各整備候補路線の基本的検討を行う。 ○市道01-36号線			
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、都市交通戦略						
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		・道路予備設計（豊田町）		・電線類地中化予備設計（豊田町） （R4繰越分） ・道路予備設計（豊田町）		・道路予備設計（一里山町） （R5繰越分） ・電線類地中化予備設計（豊田町）		・県道開通式運営等委託（R6繰越分） ・道路予備設計（一里山町）	
成果		市道01-36号線（一里山町）について、検討を進め愛知県と協議した結果、将来県道網に編入された。また市道01-36号線（豊田町）については、沿線企業及び各電線管理者と協議し、設計を進めることにより、事業の進捗を図ることができた。							
課題		市道01-36号線（一里山町）について、地元調整を進めるとともに、引き続き、愛知県及び国と協議を行う必要がある。また県道開通式については、円滑な開催に向け、愛知県及び関係市と協議を行う必要がある。							
指標		指標名称（単位）			実績値		目標値		
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
	他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		8,142	16,270	8,632	10,768	合計	8,631,700 円	
	財源	特定財源	70	7,007	6,388	7,918	委託料	8,631,700 円	
		一般財源	8,072	9,263	2,244	2,850			
	職員人件費 ②		1,732	3,990	3,823	4,859			
	総事業費（①+②）		9,874	20,260	12,455	15,627			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0		前年度繰越金					
8年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			市道2-485号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備・保全						
	目的	道路を拡幅し、歩道を設置することで、歩行者の安全確保及び地域の住環境の向上を図る。	主たる内容	市道2-485号線（起点：銀座5丁目～終点：銀座4丁目）の道路整備 延長 212m 道路幅員 10.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員（片側） 3.0m 電線類地中化					
	位置づけ	関連計画		中心市街地まちづくり基本計画、無電柱化推進計画					
			根拠法令	道路法、無電柱化の推進に関する法律、電線共同溝の整備等に関する特別措置法					
		対象者	市民	事業期間	平成13年度～令和6年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		・道路新設改良工事 190m		・道路新設改良工事 300m		(R6繰越分) ・道路新設改良工事 300m		—	
成果		道路整備を行うことにより、事業を完了することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
活動指標	道路整備率（％）			75.0	100.0	100.0	—	—	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費①		112,652	34,133	56,201	0	合計	56,201,200円	
	財源	特定財源	65,001	19,000	56,201	0	工事請負費	56,201,200円	
		一般財源	47,651	15,133	0	0			
	職員人件費②		3,463	2,686	518	0			
	総事業費（①+②）		116,115	36,819	56,719	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金(国) 前年度繰越金					
8年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			橋りょう補強事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	4					担当係	道路整備第1係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安心						
		基本施策	防災						
		施策の内容	災害に強いまちづくり						
	目的	避難路に架かる橋りょうの耐震化を促進することで、地震発生後の道路機能を確保し、避難する市民の安全性を高める。		主たる内容	橋りょう耐震補強工事 37橋				
	位置づけ	関連計画	地域防災計画、地震対策アクションプラン						
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成24年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		・橋りょう耐震補強工事 1橋（弘法橋）		・橋りょう耐震補強実施設計 4橋（R4線越分） ・橋りょう耐震補強工事 1橋（弘法橋）		・橋りょう耐震補強工事 5橋（築溜橋・川原大橋・築地用水2号橋・堀川1号橋・半ノ木橋） （R5線越分） ・橋りょう耐震補強工事 1橋（弘法橋）		（R6線越分） ・橋りょう耐震補強工事 5橋（築溜橋・川原大橋・築地用水2号橋・堀川1号橋・半ノ木橋）	
成果		計画的に耐震補強工事を行うことができた。							
課題		橋りょう補強を進めるため、引き続き関係機関との調整を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
活動指標	避難道路内の耐震化橋りょう数（橋）			4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
指標				23	24	24	29	33	
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		56,232	140,085	79,337	52,000	合計	79,336,600 円	
	財源	特定財源	0	95,908	66,337	52,000	工事請負費	79,336,600 円	
		一般財源	56,232	44,177	13,000	0			
	職員人件費 ②		3,840	5,755	3,982	4,090			
	総事業費（①+②）		60,072	145,840	83,319	56,090			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0		前年度繰越金					
8年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		都市計画道路3・5・87中町線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	4	3					担当係	事業推進係	
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	都市基盤						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備・保全						
	目的	刈谷市駅周辺の一体的なまちづくりの一環として、道路及び駅前広場の整備を行うことで、道路利用者の利便性及び安全性を確保する。				主たる内容	都市計画道路中町線（起点：御幸町4丁目～終点：広小路3丁目）の道路整備 延長 200m 幅員 15.0m 電線類地中化 バリアフリー化		
	関連計画	都市計画マスタープラン、無電柱推進計画、自転車活用推進計画							
	根拠法令	道路法、都市計画法、電線共同溝の整備等に関する特別措置法、無電柱化の推進に関する法律							
	対象者	市民			事業期間	令和6年度～令和13年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	4年度実績	5年度実績		6年度実績		7年度計画		
						・道路予備設計 ・電線類地中化予備設計		（R6繰越分） ・道路予備設計 ・電線類地中化予備設計	
成果		愛知県及び各電線管理者と協議し、設計を進めることにより、事業の進捗を図ることができた。							
課題		道路整備を進めるため、引き続き、地元及び関係機関との協議を進める必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
	活動指標	道路用地の面積取得率（％）			—	—	0.0	0.0	100.0
	活動指標	道路整備率（％）			—	—	0.0	0.0	44.1
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	4,200	12,800	合計	4,200,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	12,800	委託料	4,200,000円	
		一般財源	0	0	4,200	0			
	職員人件費②		0	0	1,513	1,944			
	総事業費（①+②）		0	0	5,713	14,744			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0							
8年度以降の事業費見込		0							